



## 鎌倉合唱連盟機関誌 第35号

発行日:2019年6月11日

編集・発行:鎌倉合唱連盟

<http://kcl2011.sakura.ne.jp/>

加盟団体数: 46団体

会員数: 1,227名

(2019年4月現在)



### ハーモニーの魅力

理事長 佐藤 ゆり

令和がスタートし、日本も新しい時代へ向かって進み始めました。ITやAIなど目まぐるしく躍進する文明の発展に、昭和前半生まれの私は取り残され感を否めない昨今です。この半世紀の科学の発展は特にめざましく、20世紀半ばに書かれたSF小説「ドノヴァンの脳髄」なども、今では人工知能の発達で現実味を帯びています。

しかし人間の本质は100年や200年で変わるものではありません。モンテヴェルディが没して約380年。バッハが没して約270年。その曲が今も私たちの心を揺さぶ

ります。生活様式、価値観、言語すべてが異なっていながら時空を超えて共有できる存在。音楽とはなんと不思議なものでしょうか。

紀元500年頃にローマの哲学者でポエティウスという人がいました。彼が書いた「音楽綱要」という理論書は中世の人々に大きな影響を与えました。彼は音楽を3つに分類しています。宇宙の調和としての音楽。人間の心身の調和としての音楽。この2つは、『実際に鳴っている音』ではありません。3つ目が実際に耳で聴くことの出る音楽です。『音楽は調律された秩序』であるという考え方は、古代ギリシャまでに遡ることができ、音楽は、『振動し鳴り響く数字』で、数学的比率の感覚的な現れでした。純正にハモった時の音は誠に美しくたった1音でも心は高揚します。ハモった時の完全5度は振動数の比が2対3です。これを何の助けも借りずに声を使って実現できるので、人間の持つ『歌う』『聴く』という能力に改めて驚嘆します。この能力を磨き、宇宙と調和する純正な音を目指して皆で美しいハーモニーを作り出していきましょう。

### 『平成』最後を飾った昨年の活動

副理事長 荒井 恵美

『令和』を迎え日本社会全体が新たな幕開けという気運が高まっていますが、鎌倉合唱連盟では既に一昨年辺りから徐々に改革が始まっておりまして。ここで改めて整理してお知らせしたいと思います。

#### ・高校生以下の演奏会参加費の無料化

若い世代の歌う機会を増やし合唱文化の発展と活性化を図る為に、高校生以下は無料としました。又、中高生などの団体を演奏会に招致して演奏してもらう等の案も理事会の中では出ています。

#### ・ホームページの充実

代表者会時にパワーポイントを使って遠藤理事より説明するコーナーがありましたが、加盟団体の各調査票のご提出により更新し、団の紹介やコンサートのお知らせ等も充実し閲覧しやすくなりました。是非一度ご覧下さい。加えて「掲示板」へもどんどんコメントを寄せて頂き、様々な情報交換の場として役立てて頂けたらと思います。操作やご不明な点がございましたら、何なりとお問い合わせ下さい。

#### ・新理事を増員

加盟団体数の割合にしては理事の人数が少なかった

ので、業務負担軽減の為理事を増員し今年は13名となりました。

今後理事会では、「えっせんす」の技術やホームページの技術継承やサポートのための、理事会以外のグループも必要ではないかという意見も出ています。そうやって鎌倉合唱連盟が安定して発展していける道筋を作り、加盟団体の皆様と共に全体で鎌倉合唱連盟を盛り上げていけたらと理事一同話し合っております。今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

### 継続は力なり

副理事長 古賀 知

私の座右の銘は「継続は力なり」です。

近年、若い方々の合唱離れが進んでいると言われます。しかし、各学校では校内合唱コンクールが盛んに行われており、合唱に興味がないとは思いません。卒業式での合唱や、合唱祭での盛り上がりを見ると寧ろ歌いたいのではないかと思います。然しながら、校内に合唱の指導者が少なかったり、音楽の先生が合唱の楽しさを知らなかったり、また受験等で合唱活動が出来なかったりと言ったことが合唱離れと言われる要因の一つと考えます。

おふくろの味が忘れられないのと同じように、幼児から高校生までの間に合唱の楽しさを知っておくと、受験や仕事で途中途切れても、大学に入ってから、大人になってから合唱を始めようと言う気になると考えます。現に、子育てが終わったから、定年退職したからと合唱を再開するといった事例も多々あります。

鎌倉合唱連盟は定期演奏会や市民合唱祭の舞台に若い方の声を響かせよう、舞台上で歌った時の喜びを感じてもらおうと高校生以下の演奏会参加費を無料としました。この取り組みの効果がすぐに現れるとは思いませんが、「継続は力なり」、小中学校、高等学校への参加のお願い活動を地道に行い、達成させたいと思います。合唱連盟の演奏会で大人の上質な演奏を聴き、一緒に歌って、合唱の楽しさを感じてもらいたいと思います。

バッハは「音楽は世界語であり、翻訳の必要がない。そこにおいては、魂が魂に話し掛けている」と名言を残しています。合唱を共通の言語として若い方々に話しかけようではありませんか。

## 新任理事紹介

本年1月の総会で承認された小倉理事、酒井理事、昨年の臨時総会で承認された太田理事に就任のメッセージを頂きました。

「新理事一年生」

太田 彌生

この度、理事を仰せつかりました。

高校生時に、児島先生の合唱の授業でハーモニの琴線にうっかり触れ、虜にされ、高じた趣味から指導やNコンの審査に携わる機会にも恵まれ、40数年、歌い続けております。しかしながらこの合唱連盟理事会の中では若い部類となり、人生経験では少々足りませんが、様々な音楽経験を生かし、少しでもお役に立つことが出来たらと入学し、役割を楽しんでおります。幾久しくよろしく願い申し

ご挨拶

小倉 裕

この度理事を拝命いたしました、鎌倉市民混声合唱団の小倉 裕です。

鎌倉での合唱経験は約30年、自団の代表職も10年近く務めております。合唱連盟の代表者会等の場では度々意見提案者として登場していましたが、今度は連盟の役職として、運営側の立場でお役に立てることもあろうかと思っております。

合唱団は人口減少と高齢化に悩まされていると言われますが、適度に体も頭も使い、友達もできて社会とのつながりが深まる合唱は、個人主義的になりがち

## 第55回定期演奏会

本年の第55回定期演奏会は7月21日(日)、鎌倉芸術館小ホールで行います。例年、大ホールでの開催ですが、天井工事のため小ホールでの開催になります。

講師の先生は、昨年同様、中村義春先生、桑原妙子先生にお願いしました。

講評に先立ち、中村先生からご寄稿頂きました。

## 鎌倉合唱連盟を讃えて！！

中村 義春

私が初めて鎌倉合唱連盟の皆様方の合唱を聴く機会に恵まれたのは、前理事長である、児島百代先生と芸大時代、同学年で理想に燃えながら「音楽の本質とは」と熱い時間を共に過ごしたご縁で、合唱祭の講評者として呼んで頂いた数年前の会が最初でした。

その時、私は皆様方が何気なく行っている演奏内容の素晴らしさにカルチャーショックを受けました。どの団体も演奏者自身が楽しみながら、しかも、芸術と呼ぶにふさわしい精神性の高さを示していたからです。「楽しければ良いのだ」と割り切った演奏の中には、しばしば精神的な退廃すら感ずる事がありますが、皆様方の演奏にはその対極あるもので、自然な表現の中に楽しさを超えた「何か」が聴きとれたからです。これは、演奏者自身が高い精神性を持つと同時に「高み」に憧れる素直な感性を持っているからだと思っております。

どうぞ、この素晴らしい特性を大事に、より素晴らしい団体に育ててください。大いに期待しています。

な現代においてこそ、もっと見直されてよいものです。「鎌倉市歌」には「文化の都」と歌われていますが、音楽に関しては鎌倉はまだまだ発展の余地があります。身近な音楽文化である「合唱」が幅広い世代で息長く親しまれ、その奥深さも知ってもらえるよう、お手伝いができれば嬉しく思います。

理事となって

酒井 雅江

合唱を始めたのは20余年前、地域のPTAコーラスに入団してからです。声を歌う事には自信がなかったのですが、団員の皆様と練習を重ね、合唱する楽しさをおぼえました。西鎌倉混声コーラスとクール・ドゥセールでは児島先生と荒井先生の情熱溢れるフレッシュで温かいご指導を頂いて美しい演奏ができるように精進しております。そして合唱連盟が身近な存在となってまいりました。このたび、前田前理事の後任として務めることになりました。微力ですが理事長はじめ合唱連盟の皆様のお役に立ちますように頑張る所存です。どうぞよろしく願いいたします。

## 鎌倉生涯学習センターの休館について

鎌倉合唱連盟理事会

鎌倉駅前の「鎌倉生涯学習センター」は、1982年の開館以来、市内の文化施設の中心として親しまれており、鎌倉合唱連盟の加盟団体も多く利用しています。

ここは災害時の避難所にもなるため耐震改修が計画されており、2019年7月から2020年1月までの7ヶ月間、ホールおよび2階の音楽室が使用できないことが発表されていました。

ところが2018年12月5日、突如「2019年1月から2020年6月(予定)まで全館休館」と通告があり、練習室のみならずホール等のイベント使用もすべて取り消し、販売済チケットやチラシ等の損害補償も一切なしという理不尽な事態になりました。理由は「耐震診断の速報値の結果が『かなり低い』(原文のまま)」ため、利用者の安全確保を図るため早急に施設全館を休館する、というもので、2回にわたり形式的な説明会がありましたが、内容は代替施設の紹介をするだけで、肝心の「耐震診断」について説明できる担当者が来ておらず、納得できるものではありませんでした。

建物は東日本大震災でも被害はなく、緊急閉鎖が必要なほど耐震性に問題があるとは考えられませんが、「補強では必要な耐震性が得られないと判断してこのまま取り壊しになる可能性はないか」と説明会の席で質問したところ、「耐震改修は元々予定していたことで予算も確保しており、少なくともまだ10年くらいは使う」という回答を頂きました。

このような経緯で生涯学習センターは1月から閉鎖されていますが、この間6月まで何をしているかという「改修設計業務と工事契約手続きの準備」、つまり建物を閉鎖する必要などないもので、何故あわてて閉鎖したのかは疑問が残ります。

耐震診断の詳細結果と改修工事の内容は関係者以外には公開されていませんが、5月20日に工事の入札が公告されたので、順調に入札が成立して6月に業者が決まり、予定通りに7月から工事が始まれば、来年7月には使用再開となります。ただし最近では人手不足や資材値上がりで入札が成立しない(引き受ける業者がない)ケースがあり、改修工事は予期しなかった問題で工事が遅れることもあるので、計画通りになるかどうかはまだ不透明です。また、順調に進んだとしても1階ロビーや音楽室、集会室の窓面に無骨な補強材(筋交い)が入り、使い勝手に多少の影響が出るのは避けられないと思われます。

学習センターの整備は、市庁舎などの公共施設全体の整備計画にも関連していますが、駅前という立地の良さに加え、小規模団体の演奏会や発表会に使い勝手の良い300席規模のホールは貴重なので、多くの方が早期の再開を待ち望んでいます。市の動向は今後も注視していきたいと思えます。



(理事 小倉 裕)

## 2019年度 鎌倉合唱連盟

1月の定期総会にて、新しく2名の新理事が承認されました。今年度の体制はつぎのとおりです。

名誉理事長	児島 百代	理事	児玉 昭義(鎌倉混声合唱団ムジカおさらぎ)
理事長	佐藤 ゆり	理事	後藤 公子(フラウエンコア・ヴォンネ)
副理事長	荒井 恵美	理事	西尾 保次郎(ムジコマーニ ストナート)
副理事長	古賀 知	理事	平野 ゆう子(アンサンブル海の星)
理事	阿部 栄子(こーる こすもす)	理事(新任)	酒井 雅江(クール・ドゥセール)
理事	太田 彌生(北鎌倉女声合唱団)	監事	松岡 幹枝(Anemone Coronaria)
理事(新任)	小倉 裕(鎌倉市民混声合唱団)	監事	片桐 恵子(アンサンブル クオーレ)
理事	遠藤 恵紀(鎌倉男声合唱団 牧神)	顧問	澤 百合子(鎌倉長谷コーラス)

理事会メンバー

(荒井副理事長・後藤理事・児玉理事(欠席))



西尾理事 小倉理事 平野理事 遠藤理事 太田理事  
酒井理事 古賀副理事長 佐藤理事長 澤顧問 阿部理事

2019年度  
鎌倉合唱連盟演奏会予定

第55回定期演奏会  
7月21日(日)  
鎌倉芸術館小ホール  
第61回市民合唱祭  
10月27日(日)  
鎌倉芸術館小ホール

各団の活動予定

(詳細は各団にお問合せください)

♪ 鎌倉女声コール  
第20回交流コンサート  
2019年6月25日(火)  
港南区民文化センター「ひまわりの郷」

♪ クール・百音  
第15回定期演奏会  
2019年6月28日(金)  
横浜みなとみらい 小ホール

♪ ジュニア合唱団なぎさ道  
第16回定期演奏会  
2019年9月1日(土)  
鎌倉芸術館 小ホール

♪ カトリック雪の下教会聖歌隊  
雪の下カトリック教会  
創立70周年記念コンサート  
2019年10月13日(日)  
雪の下カトリック教会

♪ 大船混声合唱団  
第18回定期演奏会  
2019年11月10日(土)  
鎌倉芸術館 小ホール

♪ アンサンブル クオーレ  
アンサンブル クオーレ コンサート  
2019年12月23日(月)  
横浜みなとみらい 小ホール

♪ 鎌倉男声合唱団<sup>パン</sup>牧神  
第5回定期演奏会  
2020年3月28日(日)  
鎌倉芸術館 大ホール

♪ 女声合唱団かまくらの風  
第20回定期演奏会  
2020年4月4日(土)  
逗子なぎさホール

♪ 鎌倉混声合唱団ムジカおさらぎ  
第32回定期演奏会  
2020年4月25日(土)  
鎌倉芸術館 大ホール

県合唱祭  
会場：県立音楽堂  
6月8日(土)  
♪ 女声合唱団アミカ  
♪ ボカ・グランデ  
♪ Anemone Coronaria  
6月9日(日)  
♪ 円混声合唱団  
6月22日(土)  
♪ 鎌倉湖畔コーラス  
♪ 西鎌倉混声コーラス  
6月23日(日)  
♪ 鎌倉市民混声合唱団  
♪ 女声合唱団「松」  
♪ 北鎌倉女子学園コーラス部

編集後記

佐藤理事長は「音楽は調律された秩序」である、とある哲学者の理論を紹介し、「音楽は振動し鳴り響く数字」であり、数学的比率の感覚的表れであるので、ハモった時の音は誠に美しく1音でも心は高揚する、と書かれています。その1音を求めて励んで行きたいものです。

次号は「えっせんす」への投稿欄を設けたいと思います。詳細は理事会で話し合い、皆様にお知らせしますので、宜しくお願い致します。  
(えっせんす担当 阿部栄子)